



スルガダイニオイ観桜紀行

校友の皆様、こんにちわ！

今日はナント母校本校の所在地名を付した桜をご紹介します。あるんです！「駿河台」の名のついた桜が。

ここ町田市の桜の名所の一つ「尾根緑道」の常盤上交差点の付近に5本位が「ヨウキヒ」と名のついた桜とその美しさを競い合っているのです。スルガダイニオイは「白」、ヨウキヒは「桃色」で満開でした。ともに遅咲き桜の部類です。本来ならば、4月下旬が見頃なのに今年2021年は今（4月6日）が満開。他の草木と同じに前倒しの開花そして3日で満開。神奈中バスの町田バスセンターから室内プール経由野津田車庫行で約20分、尾根緑道入り口下車、ぶ



らぶらと相模原市街や丹沢連峰を眺めながらソメイヨシノなどの花びら絨毯を歩くこと約15分、その区域だけ別世界、満開の両者が迎えてくれます。名のごとくほのかな香りが漂っていました。

学名：Cerasus speciosa ‘Surugadai-odora’

品種名駿河台匂

樹形：傘状

樹高：亜高木

花形：一重咲

花色：白

花の大きさ：大輪

開花期：4月下旬

もと東京の荒川堤で栽培されていた品種で、江戸・駿河台の一庭園にあったため、この名がつけられたといわれます。芳香が非常に強い品種です。（出典：財団法人 日本花の会）



P. lannesiana Wils. cv. Surugadai-odora
 スルガダイニオイ 駿河台匂
 直立し高さ8~12mにもなる高木。4月下旬開花。花は一重の白色で香りがある。この名は、江戸駿河台のある庭園に生じたことから生まれた。(バラ科)

尾根緑道は、緑に囲まれた散歩道。景色を楽しみながらまるで天空を歩いているみたい。緑道の西端は絹の道が通り、サンクチュアリにさまざまな動植物が生息する都立小山内裏公園があります。東端には古代ハスを育て茄糸やその実を使ったお菓子や雑貨を作る大賀藕絲館があり、その北部には都立小山田緑地が広がります。尾根から少し下り、小山・小山ヶ丘地区の多摩境通りや町田街道を歩くと、縄文遺跡や奈良・平安の遺構にも出会えます。一方、この地区にはホームセンターや大型の外資系スーパー、飲食店も多く、新旧が交互に顔を出す地域となっています。小山田地区では、中世を生きた小山田一族の歴史が感じられます。(町田市発行パンフレットより)



↑ 近くにある鬱金桜(ウコンサクラ)
 丹沢連峰・相模原市橋本方面→



今日4月6日はあいにくの曇天でしたが晴れた日には遠くに富士山を仰ぎ見手前には相模原市街が一望できます。緑道の右側(北側)には町田市小山田桜台の団地群や多摩市方面を眺望できます。

町田駅から比較的近く緑あふれる散策が気軽に楽しめる緑道ですので、チョコッと散歩気分でお出かけください。お薦めの散歩道かと思えます。

新型コロナ感染症の拡大が続く中、不要不急の外出は控える時期ではありますが、見頃を過ぎた人出具合の少ない日時の散策は3蜜にもならずOKではないかと思えますが如何でしょうか。

ちなみに今日は、前後左右ほとんど人影は見られませんでした。(記 飯田光宏 39法)



(おまけー桜の紹介)
 町田市木曽西所在「木曽観音堂」の桜